

(一般)日本漢方交流会 企画部主催・日本生薬学会、
一般公開講座のご案内

第26回 初学者のための漢方運用講座 ＜神経痛・リウマチ・関節炎の漢方処方＞

*取得単位：漢方薬・生薬認定薬剤師 必須研修3単位(日本薬剤師研修センター認定)

日時：平成30年2月25日(日)

内容：10：30～12：00 基礎理論「気血水」 太田順康
12：00～13：00 昼食
13：00～14：40 漢方の方剤学－附子剤と類方－ 高橋宏和
14：40～15：00 休憩
15：00～16：40 神経痛・リウマチ・関節炎に対する漢方処方の店頭応用
太田順康
16：40～16：50 質疑応答

場所：大阪コロナホテル (JR新大阪駅より徒歩約2分)

大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-21 TEL：06-6322-8697

参加費：一般5000円 日本漢方交流会会員、日本生薬学会会員2000円、学生1000円

＜太田順康先生のプロフィール及び講演要旨＞

薬剤師・鍼灸師。社団法人日本漢方交流会・漢方認定師範(終身)。

(有) 艸皇園太田薬局(昭和39年～)。

履歴：昭和36年岐阜薬科大学卒業。昭和49年中和理療専門学校卒業。平成4年岐阜漢方研究会会長。平成10年岐阜薬科大学非常勤講師(漢方学)。平成15年社団法人日本漢方交流会副理事長。平成18年東海漢方協議会会長。

専門：傷寒・金匱を中心にした古方。薬局製剤を中心にした漢方処方の店頭応用。わかり易い漢方基礎理論(初心者向け)。

著書：漢方基礎理論・重要処方解説(東海漢方協議会 初心者テキスト)。

色々な病に対する漢方処方の店頭応用1・2

くらしの薬草と漢方薬－ハーブ・民間薬・生薬－

共著 水野瑞夫／太田順康 新日本法規出版(株) 2014年8月

【講演要旨】

漢方基礎理論(気・血・水)

漢方医学独特の言葉は現代用語にない使い方が多く初学者の戸惑いの基になっています。

特に漢方独特の考え方である、気・血・水について、わかりやすい言葉で基本的な考え方、店頭での応用について解説します。

神経痛・リウマチ・関節炎に対する漢方処方の店頭応用

神経痛・リウマチ・関節炎は漢方的には「風湿、身痛」などで表し、区別しないで対処することが多く、病の深淺、急性・慢性で区別して処方の選定が行われます。

繁用される漢方処方の応用を、漢方的分類を基に、問診、望診、聞診上の留意点を中心にお話します。

< 高橋宏和先生のプロフィール及び講演要旨 >

薬剤師。京都漢方研究会理事・講師。

京都薬科大学非常勤講師（漢方医薬学担当）。

兵庫県明石市にて末広薬局（平成3年～）。

履歴：昭和53年徳島大学薬学部卒業。昭和53年医療法人聖光園細野診療所勤務。

社団法人日本漢方交流会理事（～平成25年）。

専門：細野流（浅田流）を中心とした折衷派。

【講演要旨】

「漢方の方剤学－附子剤と類方－」

「附子」は、補陽薬の代表的な薬物ですが、附子が劇薬であるため、これまで一般用漢方製剤で附子を含むものは、わずかしかなかったかもしれません。そのため、薬剤師は、附子剤が使いにくかったのですが、最近、附子が日本薬局方に収載され、一般用漢方製剤の見直しで、附子剤が多数採用されたので、改めて、附子の薬能と附子剤の使い方について解説します。